

遺香庵茶室

高山寺の開祖明恵(1173~1232 年)は、日本での茶の栽培の先駆者であった。明恵は、栄西(1141~1215 年)禅師が中国から日本に持ち帰った茶の種を使い、高山寺近くで茶畑を始めた。現在に至るまで、高山寺は遺香庵茶室から少し離れた場所に茶畑を維持している。

遺香庵茶室は明恵の没後 700 年および日本における茶の歴史に対する彼の優れた貢献を記念して 1931 年に建てられた。明恵への敬意と功績を称えて伝統的な茶室の遺香庵を建築するために、全国から 100 人以上の茶人が寄付をした。

茶室は一般には公開されていない。